

商品名 ロピニロールOD錠0.25mg「アメル」 医薬品基本情報

薬効	1169 その他の抗パーキンソン剤	一般名	ロピニロール塩酸塩口腔内崩壊錠
英名	Ropinirole OD AMEL	剤型	錠
薬価	8.70	規格	0.25mg 1錠
メーカー	共和薬品	毒劇区分	(劇)

ロピニロールOD錠0.25mg「アメル」の効能・効果

パーキンソン病

ロピニロールOD錠0.25mg「アメル」の使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 幻覚又はその既往、精神症状又はその既往、妄想又はその既往、重篤な心疾患又はその既往、低血圧症、重度腎障害、クレアチニンクリアランス30mL／分未満、肝障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

ロピニロールOD錠0.25mg「アメル」の副作用等

1. 幻覚、精神症状	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 突発的睡眠、悪性症候群、高熱、意識障害、高度筋硬直、不随意運動、ショック症状	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
3. 極度の傾眠、妄想、興奮、錯乱、譫妄	記載場所	重大な副作用
	頻度	5%未満
4. 傾眠、めまい、ジスキネジア、悪心	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
5. 過敏症、そう痒、蕁麻疹、リビドー亢進、病的賭博、強迫性購買、暴食、攻撃性、躁状態、失神、薬剤離脱症候群、無感情、不安、うつ、疲労感、発汗、疼痛	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明

6. 発疹、血管性浮腫、起立性低血圧、低血圧、嘔吐、腹痛、消化不良、便秘、末梢性浮腫
7. めまい、立ちくらみ、ふらつき、起立性低血圧、高熱、意識障害、高度筋硬直、不随意運動、ショック症状、悪性症候群、薬剤離脱症候群、無感情、不安、うつ、疲労感、発汗、疼痛、病的賭博、持続的にギャンブルを繰り返す状態、病的性欲亢進、強迫性購買、暴食、衝動制御障害、心拍数低下、胎仔毒性、胎仔体重減少、胎仔死亡数増加、胎仔指奇形、血漿中プロラクチン濃度低下、乳汁分泌抑制、幻覚、精神症状、ドパミン作用関連症状、精巣Leydig細胞の過形成、腺腫

記載場所	その他の副作用
頻度	5%未満
記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

ロピニロールOD錠0.25mg「アメル」の相互作用

1. 薬剤名等：ドパミン拮抗剤

発現事象	本剤の作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	本剤はドパミン作動薬であり、併用により両薬剤の作用が拮抗	指示	注意

2. 薬剤名等：CYP1A2阻害作用を有する薬剤

発現事象	Cmax及びAUCがそれぞれ約60%及び84%増加	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤のCYP1A2阻害作用により、本剤の血中濃度が上昇	指示	注意

3. 薬剤名等：エストロゲン含有製剤

発現事象	本剤の血中濃度上昇	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

4. 薬剤名等：高用量のエストロゲン

発現事象	本剤の血中濃度上昇	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

5. 薬剤名等：抗パーキンソン剤

発現事象	幻覚、錯乱、ジスキネジア	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『DIR』

